

市民に寄り添い生活を守る市政を

問) 新型コロナウイルス感染症対策では市民の安全安心のため引き続き緊張感を持って対応を。
市長) 各関係対策に先手を打って対応する。
問) ヤングケアラー支援、スクールソーシャルワーカー増員など共生社会実現に向け取組を。
市長) 横断的に対応するため支援体制を整える。
教育長) 児童生徒への支援の充実を進めたい。
問) 新庁舎建設に着工する年。決意を伺うとともに、昨今の鋼材価格の動向等の影響は。
市長) 震災対策の観点からも遅れることなく進める。影響がないよう事業者と連携し取組む。
問) 「ゼロカーボンシティ」宣言を評価する。市民・事業者の協力も必要。着実に推進を。
市長) 強い決意を持って施策を進めていく。
問) デジタル化推進にあたっては、高齢者への対策などの具体的な取組を。
市長) スマートフォン講習会等取組みを進める。
問) 持続可能な国分寺市の経営に向け柔軟かつ積極的な市政運営と財政健全化の両立を。
市長) 将来にわたって安心の財政運営を行う。
問) パートナーシップ制度のさらなる推進を。
市長) 「にじいろ相談」の実施や、近隣市と連

携して若年層の居場所づくり等にも取組む。
問) 認知症対策、フレイル予防の推進を。
市長) チームオレンジの構築を進めるとともに地域包括ケア担当課長を設置し取組を強化する。
問) 高齢者肺炎球菌ワクチン接種拡充を評価。重症化予防等のため次年度以降も推進を。
市長) 経済的負担軽減からも継続したい。
問) 障がい者施策では武蔵国分寺公園隣接地をインクルーシブな公園への整備に期待したい。
市長) 多摩地域の市立公園で初の取組になる。
問) ファーストパスデーサポート事業の推進で行政とのつながりを深めていただきたい。
市長) 安心して子育てができるよう支援したい。
問) 産後ケアでは家事支援の取組の検討も。
市長) 国制度の状況を把握し情報収集を進める。
問) 子どもの医療費助成では小学4年生から中学3年生まで所得制限を撤廃する拡大を評価。
市長) 10月から開始。経済負担軽減につなげる。
問) 小学校35人学級への着実な推進を。
教育長) 市の責任として計画的整備を進める。
問) 武蔵国分寺跡の史跡指定100周年の佳節にあたり多くの事業を評価。歴史文化の継承を。

公明党
木島 たかし



市長) 歴史と文化のまちの誇りを未来に向けてつないでいきたい。しっかり取組む。
問) 電子図書の導入を評価。計画的な推進を。
教育長) 新たなサービスとして拡充を進めたい。
問) 平和事業推進 あらためて決意を伺う。
市長) コロナ禍にあっても事業を進めていく。
問) 防災減災対策 ①女性防災リーダー登用 ②コミュニティFMの災害時活用③ブロック塀撤去等の助成 をさらに進めてほしい。
市長) 今後も取組んでいきたい。
問) 食品ロス削減等進めさらなるごみ減量を。
市長) フードドライブの拡充等進める。
問) 西国分寺駅南入口(武蔵野線高架下付近)歩道拡幅を評価。工事中の利用者の安全確保を。
市長) 早期着工を目指し、かつ安全に進める。
問) 砂川用水の水路整備 安全な維持管理を。
市長) 今回の整備で溢水の被害を解消できる。この他、職員育成、現庁舎用地の今後の方針、国分寺駅南口、野川整備、農業振興を質問要望。

市の総力を挙げた新型コロナ対策を求める

岡部: 新型コロナ対策に市の財政的、人的資源を挙げて全力で取り組むことが求められる。市長の施政方針でも「最重要課題として全庁一丸で難局を乗り越える」としているが、施策ではワクチン接種と医師会への支援がある程度だ。PCR検査の拡大、介護施設の職員・利用者に陽性者が出た時の施設への運営補助などが必要だ。困窮・低所得者への支援では、国の施策はあるが対象外の方を含む市の独自支援策が必要だ。事業者支援でも都の月次支援金の対象者に限定している問題がある。
市長: PCR検査、低所得者の支援など市として実施可能な対策を進めてきた。国や都の施策を見たらうで、市として何が必要か模索してゆく。事業者支援も適時考えてゆく。
岡部: 国からの交付金2億7千万円はコロナ対策の幅広い用途が可能であり、PCR検査、低所得者支援、事業者支援などの拡大は可能なものだ。今こそそよやかな活用をすべきだ。
市長: 財政調整基金は一定額をキープしておくことが必要だ。自然災害、緊急時の対応である。
岡部: 新型コロナの拡大も災害に匹敵する事態

だ。これを活用したらどのようなコロナ対策ができるかとの視点で考えるべきだ。
岡部: ヤングケアラーの支援としてスクールカウンセラーの増員は歓迎する。当事者からの聞き取りや市としての調査などふまえて具体的な支援策の検討を進めてほしい。介護保険制度が20年経過しても家族介護で担っているという重大な問題でもある。
市長: 市報等での啓発、状況把握等を行う。市の支援体制検討に着手したい。
岡部: 補聴器購入補助実施を求める。三鷹市が新年度から実施と聞く。軽度の難聴から認知症へのリスクもあると指摘されている。高齢者の社会参加を保証するものだ。
市長: 補聴器は非常に高い、しかし使う難しさもある。三鷹市を参考にしながら研究したい。
岡部: 都立病院が多くの市民の生命を守ってきた。2月16日からの都議会に廃止条例案が提出され都立病院予算も6月までしか計上されていない。7000人の都職員の身分も一方的に奪うもので許されないものだ。
市長: 各市、都の考え方もあり、しっかりと聞

日本共産党国分寺市議団
岡部 宏章



いて判断してゆきたい。
岡部: 中央線西国分寺駅東口、西武線恋ヶ窪駅東口の開設を。
市長: JR、西武鉄道との交渉を継続してゆく。
岡部: 2022年度は国の方針で個人情報保護条例の改正検討が進められる。国の言う通りなら個人情報は守られない。ガバメントクラウドに参加することも同様で、市民のデータが米国の手に渡ることになる。法ではこれへの参加は任意とされており、市は参加しない判断をすべきだ。
市長: 春には国のガイドラインが示されるので、議論と検討を重ねたい。ガバメントクラウドは国産の話もあり、情報収集して見据えたい。他に◎GIGAスクール構想と子どもの学習情報◎気候危機への市の対策◎小中学校の少人数学級化の課題◎学童保育所の増設と高学年児童の受け入れ◎恋ヶ窪公民館のバリアフリー化◎現庁舎用地の利活用と公共施設の再配置、などについて質問しました。

市民の力が発揮できる市政運営を!

◆2年以上に及ぶ感染症の影響は、経済的ダメージや心身の不調などに現れている。一方で、こういう時だからこそ何かできることをしたいとの人の動きも見える。全ての施策において、「すべての人を大切にすまじ宣言」を具現化するための全庁的な取組みを求める。
(市長) 多くの市民が厳しい状況にある。誰もが相互に人格と個性を尊重しあえる、多様な生き方を認め合える全員参加型の社会と共生社会を実現していくために宣言した。その趣旨に沿っていろいろな施策を展開していきたい。
◆5歳~11歳までのワクチン接種に不安の声がある。ワクチンに関する最新情報の提供や相談体制、子どもたちが差別を受けることがないよう配慮を。(市長) 医療的な見解が出されたら

HPやその他のツールで案内する。差別がないよう丁寧な周知を行う。◆市民の自発的な活動から新たな縁が市内に広がり、閉塞感漂うコロナ禍においても、若い世代の発想や行動に希望が見える。今年度整備を進める「重層的支援体制」の地域づくりに市民との意見交換を。
(市長) 重層的支援体制は、多くの問題を抱える家庭へ総合的な支援を行う。重層的支援会議を設け、地域づくりに向けた団体等の力も借りながら進めたい。関係機関や地域福祉推進協議会のご意見も聞きながら準備していく。◆障害の有無にかかわらず、誰もが一緒に遊べるインクルーシブな公園の整備は、単にインクルーシブ遊具を置くだけでなく、子どもや保護者、地域住民が集うワークショップを繰り返しながら、多様性を認め合うコミュニティの拠点となるよう進めてほしい。(市長) 障害のある方だけでなく多くの方が集い、交流できる癒しの拠点のような場所にしたい。心の触れ合いにも期待する。多くの方に意見をききながら、公園の造成に努めていく。◆地球温暖化防止行動計画(市域版)の策定は、市民、事業者、行政がそれぞれに持つ情報や知恵を出し合い、協力しあえる場を作っていくことが重要。(市長) 市民・事業者の協力が大変大切で、同じ意識と目標を共有する必要がある。実現・実施可能で効率的・効果的な温室効果ガス削減策を検討していく。

無党派(国分寺・生活者ネットワーク)
高瀬 かおる

